

三上義夫 以^{みよ}和算・數學史家。明治八年（二月十六日廣島縣甲田町生
れ、昭和二十五年十二月二十一日歿（八五—九五））。文部省檢定試験
による中等學校數學科免許を得たのうち、明治四十四年東京帝國大學文
科大學哲學科選科生となり、東京物理學校で日本・支那數學史を講義。
これより曩^{なほ}二十八年から和算を研究。一方支那數學史を開拓し、並^な又
で『支那及び日本での數學の發展』（大正二年）を發表、世界でも初
の支那數學史として歐米で永く定本とせられた。また大正十二年『哲
學雜誌』第四（一）號から第四（二六）號にかけて發表せられた『文化史上
より見たる日本の數學』（昭和十二年七月十日創元社）は、へその
後の科學史の研究に非常に大きな影響を及ぼした劃期的な論文（大
矢真一）。

他に『房總數學生年表』（昭和十一年八月八日千葉縣圖書館「千葉縣圖
書館叢書」）等。

